

須坂市教育委員会 12 月定例会 【会議録】

1 日 時 2021 年 12 月 27 日（月）午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分

2 場 所 須市役所 305 会議室

3 出席した委員

教育長	小林 雅彦
教育長職務代理者	二ノ宮邦彦
教育委員	土屋 保男
教育委員	水上 智恵
教育委員	山下美知子

4 説明のため出席した職員

教育次長	清水 秀一
学校教育課長	中村 健司
子ども課長	小林 昌幸
人権同和教育課長	牧 俊彦
学校給食センター所長	北堀 智
文化スポーツ課長	田中 賢一
生涯学習推進課長	山岸 一延
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	竹前 金三
指導主事	北村 雅

5 事務局出席職員

庶務係長	小林 貴彦
庶務係担当係長	安川 尚義

6 本日の会議に付した事項

(1) 学校等の状況報告について

(2) 議 題

議案第 40 号 須坂市立学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則
について

(3) 協 議

(4) 一般行政報告

- ① 教育長出席行事の報告について
- ② 行事共催等承認の報告について
- ③ 12月定例会市議会報告について

(5) その他

- ① 教育委員会行事予定について
 - ② 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
 - ③ 須坂市子育て就労総合支援センターにおける地方創生推進交付金活用予定事業について
 - ④ その他
-

小林教育長が開会を宣した。

1 学校等の状況報告について

教育長が説明を求めた。

(1) 後藤主任指導主事が学校等の状況について説明した。

- ・児童生徒の欠席（30日以上）状況について、中学2年生は新規で8人、継続15人。この学年は、小学校の時から不登校者数が多い学年でもあり、小学5年の時点で10人、6年で12人、中学1年で24人であった。新規をどう抑えていくかが課題である。
- ・不登校不応児童生徒の対応として、ICTを活用した支援が各学校で行われている。例えば、ある学校では、家庭訪問をしてもなかなか会えない生徒に対して、登校場所として教室以外にも学習室があることをGoogle Meetを使って紹介した。また、学習室に登校できる生徒は、学習室にしながら教室で行われている授業にオンラインで参加できるように支援を行っている。
- ・不登校不応児童生徒にとっては、ICT活用は、次の一歩を踏み出すために有効な支援になっている。学校や家庭との繋がりができる。
- ・いじめに関する調査（11月実施）について。調査対象人数 小学校 2505人、

中学校 1195 人。回答率 小学校 99%、中学校 93%

- ・学校が楽しいかとの質問で、「楽しい」「まあ楽しい」と肯定的な回答をした児童は、小学校では4年生を除いて90%を超えている。4年生は前回6月の調査から4%減で90%を下回った。
- ・楽しくないと答えた児童生徒の状況については、各学校に対応をお願いしている。
- ・「いじめられたことがあるか」との質問で、小学校では「ある」と答えた児童の割合が6月調査から0.9%増え、18.5%。中学校では、0.7%減で2.2%。
- ・「いじめられたことがある」との回答は、小学校でも中学校でも学年が進むにつれて減少する傾向がある。
- ・いじめの様態では、冷やかしやからかい、軽い暴力、無視仲間外れが多い。
- ・「いじめをしたことがあるか」との質問では、小学校では「ある」と答えた児童の割合が6月調査から2.1%減で7.5%。中学校では、0.5%減で1.8%。
- ・「いじめをしたことがある」と回答した男女比は、小中学校ともに男子の方が女子よりも多くなっている。
- ・「いじめをしたことがある」と回答した過去4年間の経年変化では、小学校はやや減少傾向。中学校は横ばい。
- ・「いじめられた時、誰に話したり相談したりしたか」との質問に、小学校では担任、父母、友達の順に多い。中学校では、担任、友達、父母の順に多い。また、誰にも話さないとの回答は、小学校では92人、中学校では4人。
- ・本調査は記名調査で行っているため、各学校で個別に対応を実施している。

2 議 題

議案第40号 須坂市立学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則
について

教育長からの求めで、田中文化スポーツ課長が説明した。特に意見・質問無く、承認された。

3 協 議

無し

4 一般行政報告

(1) 教育長出席行事の報告について

教育長が主だった出席行事について説明した。

(2) 行事共催等承認の報告について

小林教育長が説明を求め、中村学校教育課長が説明した。

- ・後援事業が4件。共催事業が1件。

(3) 12月定例市議会報告について

小林教育長が説明を求め、清水教育次長が説明した。

5 その他

(1) 教育委員会行事予定について

小林教育長が説明を求め、各課長等が説明した。

次回定例会は1月28日（金）午後1時30分に決定した。

(2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

小林教育長が説明を求め、中村学校教育課長が説明した。

(3) 須坂市子育て就労総合支援センターにおける地方創生推進交付金活用予定事業について

小林教育長が説明を求め、小林子ども課長が説明した。

- ・シルキー1階に整備する子育て就労総合支援センターのソフト事業に、国の地方創生推進交付金の活用を予定している。子育てと就労を総合的に応援する事業。事業計画3か年。事業費は3か年で約2億4千万円。
- ・1年目は基盤形成として基礎調査と事業検討等、2年目は調査結果を踏まえた事業実践、3年目は事業発展として、起業や専門スキル習得支援等を計画している。

(4) その他

無し

小林教育長が閉会を宣した。